

日本共産党 市議員団 ニュース

十二月議会報告二号

一般質問

土谷一郎議員

市特別職(市長・助役・収入役)経験者らの第3セクターへの再雇用のあり方をたず

第3セクターは市の意向で

設立、運営されてきたもので、市は多額の出資を行っており、債務補償、長期・短期の低利貸付け、床の借り上げなど、市財政が大変だといながら財政的支援をしてきた会社です。18年度決算委員会では、前市長が退職慰労金3300万円をもらっていたことが大問題になりました。

土谷議員は市退職者の中で、特別職である市長、助役、収入役や、水道事業管理者などの三役経験者が、第3セクターであるアステ川西・川西都市開発(株)、(株)パルティ川西、川西能勢口振興開発(株)に再就職している問題を取り上げ質問しました。

他の退職職員は再任用や嘱託として現役時の半分かそれ以下で働いているのにくらべて、現役時と変わらない月収をもらっている人がいるがあまりにも違いすぎると指摘。

発行
日本共産党
川西市議員団
市役所控室
TEL740-1111
内線4020
議員団直通
FAX759-1811

市議員団
土谷一郎
TEL・fax 793-2134
住田由之輔
TEL・fax 759-4541
黒田みち
TEL・fax 790-3055
大塚寿夫
TEL・fax 793-2243

これら第3セクターは、一般の会社とは違い川西市が支

援しているものである。これでは天下りといわれても仕方がない。このあり方を見直すべきではないかとたずねました。

副市長は「知識、経験を生

かすためにお世話しているが、市民の理解が得られることが望ましい。バランスを欠くことであれば指導する」と答弁。

土谷議員は「市民、職員からの批判も強い」見直すべきだと強調しました。

第三セクター (株)川西水道サービスの 事業運営について

株式会社川西水道サービスは、市の上下水道施設の施工・維持管理、水道メーター取替え、閉開栓、検針等の業務を行う第3セクターです。

そして川西市が筆頭株主となり、65%の株を取得しています。

株式会社川西水道サービスは「公」の業務を主としている会社であり、当然に公平・公正・透明性が求められます。



市はスポーツ人口に比べ施設が少ないことを認めながら、「住民の協力が必要、経費

がかかり現状は困難」
「整備は不可欠だが、後期基本計画の中で考えていく」とした。

大塚寿夫議員

08年度予算編成方針について

学校グラウンドを利用した夜間照明設置、スポーツ広場整備の考え方をたず

「総額管理枠配分方式」ということで、19年度当初予算を限度に、そこから行政改革検討項目の金額を控除したものがなっています。昨年より配分は頭から減額になるもので

質問1、財政環境はなぜ厳しくなっているのか、明らかにした編成方針が求められる、その所をお聞かせ下さい。

近隣の民家などに迷惑のからない高台にある多田東や北陵小学校グラウンドをモデルケースとした夜間照明設置の考えはないか。また、市民が気軽にスポーツができる環境を整える考えをたずねました。

答弁II その通り重要だと考える。さまざま重なり合った。平成元年〜9年までは良かった。経済の予想を超える変化に対応しきれなかった。そしてH16年からの三位一体改革であった。開発は必要であった。

質問2、全体として、収入を少なく示し、基金残高を多くして、財政が大変だと言っている。開発事業は計画があるが予算に、財政計画に反映しない。

答弁II 中央北地区開発費用は含めていない。その時点でバランスを考え検討する。

基金を繰り入れなくてすむようにしたい。

質問3、職員定数について、02年から10年間で200

人削減目標です。行政改革の最大の削減は人件費であります。類似団体より少ないのに、さらに削減です。もともと、それぞれの自治体に違いがあるわけですから、他市との比較で一律に論じることはできないものです。少なければ良い、と言うものではありません。

削減の理由・根拠は何なのかお聞かせ下さい。行政改革は、ムダをなくして、職員が希望持って働ける、市民福祉の向上や、暮らしの向上を進める。そうでなければならぬと考えます。そんなことは考えられない編成方針。自治体の役割が問われるもので

答弁II 人員削減はしなければならぬと考えている。少なくともやっつけていけると考えている。

公契約条例の制定を!

行政改革の名のもと、定員の削減、業務の民間委託、管理者導入がすすめられています。「安ければよい」という風潮にもなっています。そして委託先で働く労働者に低賃金が押しつけられています。作業する人数が示されて、発注されていて、請け負った業者は少ない人数で作業していることも起こります。企業努力だ、とすましては自治体が委託先の労働者の労働条件を悪くしていることになりません。指導勧告が求められます。適正価格による支出は無駄遣いではありません。地元中小業者の経営を安定させ、そこに働く労働者への適正な賃金は、購買力を高め、

税収増にもなり自治体に還元されることにもなります。

答弁II 国が法律をつくるのが先だ。「検討委員会を検討していく」

「暮らしを支える公務員は減らさないで!!」



加茂遺跡

東側斜面地環濠の保存で 歴史と自然を生かしたまちづくりを

歴史的価値がある
国史跡指定拡大すべき
地権者の理解が前提にな
るが国の史跡指定を拡充す
ることで、開発される前に手
立てをつくすことが必要と
住田議員は訴え。今回もまた
開発されることが決まった
後から「手立てを講ずる」で
あり、教育委員会の手立ての
遅さを批判。

今回開発地の隣はすでに
マンションが建ち、貴重な斜
面地環濠が破壊されてしま
っている。もう写真でしか見
ることができない。

加茂遺跡とは

石器時代から集落が存在
し、弥生時代中期が全盛で5
00名の人口であったと推
計されている。周囲に環濠が
掘られ、「敵の侵入」を防ぐ構
造が明らかになっている。

同じ時期、九州吉野が里遺
跡は40ヘクタール。加茂は
20ヘクタールと半分だが、
構造は同じであり、歴史的に
高い価値を持っている。しか
もまだまだ十分な発掘調査
はされておらないから、貴重
な遺構も残っている可能性
を秘めている。



住田由之輔議員

現物の保存を

住田議員は、川西の地に
これだけの貴重なものが存
在するわけであるから、な
んとしても現物を保存すべ
く強く訴え。またこれらを
生かしたまちづくり、特に
遊歩道の整備をやるべきだ
とも要求。

教育委員会は、遺構調査
を見守るとの消極姿勢に終
始。

発掘調査で、集落への進入路が強固

なつくりであったことが発覚



一般質問が終わった12月末、資料館東側道路
の発掘調査で、集落への進入路にさらに3つ
目の環濠と落とし穴的な溝が新たに見つか
り、遺跡の貴重さが浮き彫りになっています。

黒田みち議員

12月議会で私(黒田)は、
①南北に細長く、坂道・急坂
が多い川西市の地形を踏まえ
た交通体系の整備②25歳
39歳の働き盛り・子育て世
代の構成比が20.9%、合
計特殊出生率が1.12%と
ともに低い実態を踏まえた支
援策の拡充を提案。「誰もが安
心して住み続けられる街作り
を」と討論しました。

市と市民の智恵、効果的な 税金支出で

「車に乗れなくなっても、
自分の家に住み続けたい」。地
域で聞かせていただく、切実
な要望です。この要望にこた
えるため、現状の交通網の分
析とコミュニティバスなどの
新しい交通網の確立、バリア
フリー化など、市がコーディ
ネート役をはたし、みんなで
知恵と力を出し合い総合的な
街づくりを進めるべきと提案
しました。

その際、すでに市内で行われ
ている民間病院のバス運行や
地域通貨の取り組み、タクシ
ー呼び出しの無料化や近隣市
での乗り合いタクシー運行、
買い物スタンプでのタクシー
割引、市民手作り「子育てマ
ップ」づくりなども参考にし、
「効果的な予算の使い方を」
と求めました。



小学校入学前まで通院医 療費を無料に

市の子育て施策は阪神間7
市の中でダントツに遅れてお
り、少子化の大きな理由になっ
ています。

家賃補助や妊産婦検診への
支援、こどもの医療費無料化の
拡大など「子育て世代への経済
的支援策が急務」との立場で、
「通院の医療費は、年間240
0万円、3歳未満児まで、62
00万円、小学校入学前まで
無料にできる」と提起。

事業者のトロボ箱(産業廃棄
物)を一般廃棄物として受け取
り、市が、2017万円かけて
処理したうえで132万円、
売却など、「納得できない税金
の使い方を改めればすぐに実
現可能」とただしました。

保育料滞納者に冷酷(冷たす ぎる)な催告通知

保護者が保育料を払うのは
当然ですが、払いたくても払え
ない人達が増えていきます。

そんな中で今回、滞納者に
「勤務先への訪問、給与の差し
押さえ、銀行等への調査、預貯
金や不動産の差し押さえ、入所
承諾の保留・・・」といった内
容の通知が郵送されました。

阪神6市では、経済状況や保
護者の実態にあわせ、延長保育
料も一律ではなく、保育料にリ
ンクさせるなど、さまざまな工
夫、支援がなされています。

こうした事例も示し、
◎「必要な施策をせず、一方的
に取り締まりを強化するの
は問題」

◎「せめて近隣市並みの減免・
軽減措置をすべき」

◎「待機児童が多い中で、来年
度市立栄保育所の1歳児受
け入れ中止の撤回を」と強く
要求しました。

答弁

・まちづくりについては
○横断的・総合的におこなう
・保育料の軽減は
○検討する